事業番号

0280

					_,	MA -	- 4			尹オ	<u>養</u>		80	
		シ鹿却型はず日本1%/		8年度行		<u></u>	ビュー	<u>-シート</u>	(厚生5	<u> </u>)	
		診療報酬体系見直し後の 局のかかりつけ機能に係		们に必要な辞貨	(楽	担当部	₿局庁 					作用	戊責任者	
再	事業開始年度	平成23年度	事業終了 (予定)年度	終了予定な	ìL	担当	課室	医療課 宮嵜 雅則						
	会計区分	一般会計												
		社会保険医療協議会 第2項	法(昭和25年法	律第47号)第8	8条 関	関係する計画、 平成28年度診療報酬改定に係る答申書附帯 通知等 2月中央社会保険医療協議会)					答申書附帯	意見(平成28年		
主	要政策∙施策	-			主要経費 社会保障									
(事業の目的 目指す姿を簡 □。3行程度以 内)	者す姿を簡 回診療報酬改定に向けて、評価体系を整理する。 3行程度以												
(5	事業概要 行程度以内。 別添可)	全保険薬局から抽出 制に関してアンケート調											能、医療提供体	
	実施方法	委託•請負												
			25	年度	2	.6年度		27年度			28年度	29年度要求		
		当初予算	Ī	7		7		7 -		7				
		補正予算		-		_				-				
		予算 前年度から繰の状 羽矢 第4 8 4 8 4		_		_		_			_		-	
	予算額 · 執行額	況 空中度へ繰り		-							_			
()	単位:百万円)	予備費等		-						-				
		計		7		7		7			7		0	
		執行額		7		3		5						
		執行率(%)	1	100%		43%		71%						
成身	果目標及び成	定量的な成果目	標	成果指標			単位	25年度	26年	F度	27年度	中間目標	目標最終年度	
	果実績 アウトカム)					果実績		-	-	-	_	_	_	
`	, , , , , ,	_	_			目標値	-	-	-	-	_	_	-	
					月	達成度	%	_	-		_	_	_	
	定量的な目標	定量的	りな目標が設定~	できない理由				定性的な	成果目	目標と	25~27年度(の達成状況・	実績	
なし	標	本調査は、診療報酬に関し、保険薬局における薬剤 業務等の評価方法について検討を行うために必要な基 収集を目的としており、直接的に測ることのできる指標 は困難であるが、間接的な指標として、調査に対するが 答率を指標とした。				資料のますこと	(たたたし	、四合半ほり	间坦	項目数により増減する可能性を考慮し、成果す 間査項目数を掛け合わせた回答総数とした。) 				
の設定は	事業の妥当性	代替目標		代替指標			単位	25年度	26年	F度	27年度	中間目標	目標最終年度 28 年度	
	を検証するた めの代替的な		即按 <i>协+</i> >	指標として、訓		実績	回答総数(千問)	81	8	4	75	_	-	
場	達成目標及び	調査に対する施設の 率		施設の回答率		目標値	回答率	100	10	00	100	-	-	
合					這	達成度	%	69	5	5	70	_	_	
		活動指標					単位	25年度	26年	F度	27年度	28年月	度活動見込	
,	動指標及び活 動実績	本調査は、保険医療	景機関の業務を対	対象とした調査	全分活	動実績	調査施設数	1,500	1,7	00	1,600		-	
(7	アウトプット)	析・集計等を実施するものであり、詳細な活動指標を示すことは困難であるが、調査対象とする施設数を指標とした。				初見込み	調査施設数	1,500	1,7	00	1,600		-	
			算出根拠				単位	25年度	26年	F度	27年度	28年月	度活動見込	
ز	単位当たり	単位当	たりコスト=X		単	単位当たり コスト	千円	0.1	0.	1	0.1		-	
	コスト		X:執行額 Y:回答総数		青	计算式	X (百万円)/ Y(千問)	7/81	3/	84	5/75	-		

東京	主な増減理由																		
2										7	託費	会保険基礎調査委託費							
2																			
対 7 0 0																			
政策																			
対 7 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1																			
政策 選案 選案 選案 選案 選案 選案 選案 選									0	7		= ⊥							
整演 25年度 26年度 27年度 中間目標 27年度 中間目標 27年度 28年度 27年度 中間目標 27年度 28年度 28年度 27年度 28年度 28年度 27年度 28年度 28年度 27年度 28年度									U	1		ĀΙ							
東京の日的は国民や社会の二人でおいて変わった。 東京の日的は国民や社会の二人でおいて変われているから 東京の日のは国民や社会の二人でおいて変われているから 東京の日のは国民や社会の二人でおいて変われているが、 東京の日のは国民や社会の三人が、 東京の日のは国民や社会の二人では、 東京の日のは国民や社会の二人では、 東京の日のは国民や社会の三人が、 東京の日のは国民・大口との正の日の日の日の日の日の日の日の日の日の日の日の日の日の日の日の日の日の日の				をすること	度を構築	療保 険制 /	な医療	定的∙効率	療を保障できる安富	全国民に必要な医	1標9 :	施策大目	政策						
及業業価 単位 25年度 26年度 27年度 中間目標 年度 1 日標値						オスニレ	構筑す	5.保险制度	宝的 動家的な医療)_1 滴正かつ完	■ I — O	施 第日超	施筆						
及 業						9 0	1 一 本 7	一 一											
大学	目標年度		27年度	26年度	5年度	位 25	単位			定量的指標									
### 日標値	_	_	-	_	_		_	宇結何					測定	政					
本事業の成果と上位施策・測定指標との関係 全保険薬馬から抽出した接股を対象として、在宅患者に対する訪問薬剤管理指導その他の薬剤師の関わり方等、薬局のかかりつけ機体を制に関する書面調査を行うから、これまで行ってきた即剤報酬改定を踏まえた薬局における患者へのする部では、採掘等を明らかするともに、訪問薬剤管理指導の実態のあるべき姿、現場での新たなニーズなどを調査し、次回診療は「、評価体系を選することができる。 文本章 分野・							_	入作祭刊				_	指標	策評					
・財政 東 生 生 ア フ ・ フ ・ フ ・ フ ・ フ ・ フ ・ フ ・ フ ・ フ ・ フ	-	-	-	-	-	-	-	目標値						11111					
全保険薬局から抽出した施設を対象として、在宅患者に対する訪問薬剤管理指導その他の薬剤師の関わり方等、薬局のかかりつけ機 供体制に関する苦面調査を行う。 地域医療における薬局のかかりつけ機能をさらに強化するため、これまで行ってきた調剤報酬改定を踏まえた薬局における患者へのす 等を調査し、課題等を明らかにするとともに、訪問薬剤管理指導の実態のあるべき変、現場での新たなニーズなどを調査し、次回診療は で、評価系を整理することができる。 大P (第一階層) 単位 計画開始時 27年度 28年度 中間目標 「年度 「年度				[係	標との関		 b施策•	 の成果と上	本事業の										
映作物に関する書面調査を行う。 (供称制に関する書面調査を行う。 (地度像における薬局のかか)つけ機能をさらに強化するため、これまで行ってきた制剤報酬改定を踏まえた業局における患者への手等を調査し、課題等を明らかにするとともに、訪問業剤管理指導の実態のあるべき薬、現場での新たなニーズなどを調査し、次回診療はで、評価に関するというとして、計画に対して、計画に対して、計画に対して、計画に対して、対して、計画に対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、		のかかりつけ	 √方等、薬局																
本事業の成果と改革項目・KPI	指導等の実態	ける患者への	た薬局にお	改定を踏まえ	周剤報酬	ってきた調	で行っ	ため、これ	能をさらに強化する										
本事業の耐寒と改革項目・KPI 本事業の耐寒は大きないできない事業なのか。 本事業のが選及手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業がある。 本事業のが選及手段として必要かつ適切な事業が。政策体系の中で優先度の高い事業がある。 本事業のが選及上の対策を持つという。 本事業のが表示しているがと変出を知るという政策目的を定成に関する経過を持つない対策を持つな対策を持つない対策を持つながであり、対策を対策を持つない対策を持つない対策を持つない対策を持つない対策を持つない対策を持つない対策を持つない対策を持つない対策を持つない対策を持つない対策を持つない対策を持つない対策を持つない対策を持つない対策を持つないが、対策を持つない対策を対策を持つない対策を持つない対策を対策を持つない対策を対策を持つない対策を対策を持つない対策を対策を対策を対策を対策を対策を対策を対策を対策を対策を対策を対策を対策を対	報酬改定に向	査し、次回診療	·ズなどを調査	の新たなニー	現場では	るべき姿、	のある	指導の実施											
KPI (第一階層) 単位 計画開始時 27年度 28年度 中間目標 一 年度 日標値 一 年度 一 年度 日標値 一 一 一 一 日標値 一 年度 日標値 一										_			改革						
中位 一年度 27年度 28年度 一年度 28年度 一年度 28年度 一年度 27年度 28年度 一年度 28年度 一年度 27年度 28年度 一年度 28年度 一日標値 一一一 一一 一一 一一 一一 一一 一一	目標最終年度	山間日煙			可思始時	計画	1			KDI		7) ±1.	項目	クション・プログラ					
R	- 年度		28年度	27年度		位	単位												
日標値	_	-	-	-	_	-	-	成果実					- <u>`</u>						
「東京	_	-	-	-	-		_					_	層「						
大学	 目標最終年度		-	-			%	達成原		L/DI									
日標値	- 年度		28年度	27年度		位	単位						(第						
達成度 % - - - 本事業の成果と改革項目・KPIとの関係	_	-	_	-	_	-	i –	成果実					二 階						
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係 項目 事業の情部局による点検・改善 項目 事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。 少要性 地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。 政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。 競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。 一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一般競争入札(最低価落札方式)を実施し、適競争性のない随意契約となったものはないか。 競争性のない随意契約となったものはないか。 要者との負担関係は妥当であるか。 全益者との負担関係は妥当であるか。 本事業の	_	-	-	_	-		-					_	層 ·						
事業所管部局による点検・改善 評価 評価に関する説明 診療報酬に関する評価方法について検討を行な基礎資料の収集を目的とするものであり、広ズがあり、国費を投入しなければ事業目的が設地 お書き 地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	_	-	_						* 声										
項目 評価 評価に関する説明 事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。 本基礎資料の収集を目的とするものであり、広 ズがあり、国費を投入しなければ事業目的が選 地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。 政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い 事業か。 競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。 一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、 一者応札又は一者応募となったものはないか。 競争性のない随意契約となったものはないか。 要		本事業の成果と改革項目・KPIとの関係																	
項 目 評価 評価に関する説明 事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。 本基礎資料の収集を目的とするものであり、広 ズがあり、国費を投入しなければ事業目的が選 地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。 政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い 事業か。 競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。 一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、 一者応札又は一者応募となったものはないか。 競争性のない随意契約となったものはないか。 要													-						
事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。 診療報酬に関する評価方法について検討を行な基礎資料の収集を目的とするものであり、広ズがあり、国費を投入しなければ事業目的が通知を要性 地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。 ○ 診療報酬に関する基礎資料の収集が目的である。 診療報酬に関する基礎資料の収集が目的である。 診療報酬に関する評価方法について検討を行な基礎資料を得るという政策目的達成に向けてある。						検・改善	る点検	管部局に	事業所管										
費投入の必要性 事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。 ○ な基礎資料の収集を目的とするものであり、広ズがあり、国費を投入しなければ事業目的が通診療報酬に関する基礎資料の収集が目的であずべき事業である。 政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。 ○ 診療報酬に関する評価方法について検討を行な基礎資料を得るという政策目的達成に向けて高い事業である。 競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。 ○ 一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。 無 基づいて選定している。 事業の 受益者との負担関係は妥当であるか。 - 一般競争入札を行うことにより、コストの削減に	ランナルに必要			品別に関する		評価				項 目 				·					
地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。 診療報酬に関する基礎資料の収集が目的であ すべき事業である。 診療報酬に関する評価方法について検討を行 すべき事業である。 診療報酬に関する評価方法について検討を行 な基礎資料を得るという政策目的達成に向けて 高い事業である。 一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、 一者応札又は一者応募となったものはないか。 無	はく国民のニー	るものであり、	を目的とする	壁資料の収集	な基礎	0			で映しているか。	業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。									
の必要性			基礎資料の	服酬に関する	診療執	0			 『業なのか。										
競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			評価方法につ	段酬に関する	診療執	\	の高い	中で優先度											
- 般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、	て、懓先度の	的達成に同じ	という政策日			O													
ー者応札又は一者応募となったものはないか。 <td <="" rowspan="2" td=""><td></td><td colspan="4">0</td><td></td><td>L7 + 11 a</td><td></td><td colspan="6"></td></td>	<td></td> <td colspan="4">0</td> <td></td> <td>L7 + 11 a</td> <td></td> <td colspan="6"></td>		0					L7 + 11 a											
#		1止な手続さに	は)を美施し、				無)5、 	よる文正0										
の 一般競争入札を行うことにより、コストの削減に																			
	 こ努めており、	、コストの削減	うことにより、	竞争入札を行	_ 一般說														
本						0			このとたっていてか										
#日・佐舎が東業日的に即し直に必要なものに限定されているか。 データの集計、整理等、事業遂行のための必要	要な費目・使	行のための必																	
本語 本語 本語 本語 本語 本語 本語 本語	 ニため。	で入札してき	_ ·																
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	こ努めている。	、コストの削減	うことにより、	競争入札を行	一般意	0			われているか。	こ向けた工夫は行れ	物率化に	・削減や郊	ロスト	その他					

	成果実績に	は成果目標に見合ったものとな	いているか。	o		-	-					
の有		こ当たって他の手段・方法等が 低コストで実施できているか。		場合、それ	0	対象施設に対して直接の調査を実施することにより、直接的な回答を得ることができることから、実効性の高い手段となっている。						
効性	活動実績に	は見込みに見合ったものである	らか。		-	_						
		施設や成果物は十分に活用				0	診療報酬に関する評価方法について検討を行うための基礎 資料として十分に活用している。					
		『業がある場合、他部局・他府 の具体的な内容を各事業のも		な役割分割	旦を行っているか。	0						
		所管府省·部局名	事業番号		事業名							
関連事	厚生労働省	保険局	診療報酬体系見直し後の評価 279 調査に必要な経費(薬剤師等) 実態調査費)				本調査と類似調査は薬剤管理等に係る調査であるが、調査 内容、調査客体及び調査手法等が異なるため適切に役割					
業							分担できている。					
点検・改	点検結果	過去の執行率にばらつきが いと判断。	あるが、平成	t27年度l	においても調達には一	般競争入	札を導入し、業務も円滑に遂行されており、特段の問題はな					
改善結果	改善の 方向性	アンケートの回答者の負担でれるよう必要な改善を行うこ			情報が得られるよう、訂	関査票の 見	見直しを行ってきたところであるが、今後も十分な情報が得ら					
	 外部有識者の所見											
				行政事	業レビュー推進チー	ムの所見	1					
	i i		所見を	踏まえた	:改善点/概算要求に	おけるか						
	l											
					WIN . A							
					過去のレビューシート 	の事業						
	成22年度	-			新23-096		平成24年度 938					
平	成25年度	264	半成2	26年度	276		平成27年度 286					

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。 厚生労働省 5百万円 事業の企画、全体調整等、事業全体 の進行管理 【一般競争入札】 A. EYアドバイザリー株式会社 5百万円 事業の企画に沿った実際の調査 の実施、回収した調査結果の集 **資金の流れ** (資金の受け取 (員金の受け取り先が何を行っ ているかについ て補足する) (単位:百万 円)

費目・使途 (「資金の流れ」に		A.EYアドバイザリー(株)			B.	
おいてブロックご	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
とに最大の金額が支出されている	人件費	事業の企画に沿った実際の調査の実施、 回収した調査結果の集計	3			
者について記載する。費目と使途	物件費	会議開催経費、印刷費、郵送料等	1			
の双方で実情が 分かるように記	その他	管理費、消費税等	1			
載)						
	計		5	計		0

支出先上位10者リスト ^Δ

A.	支 出 先	法人番号	業務概要	支 出 額(百万円)	契約方式	入札者数 (応募者 数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	EYアドバイザリー (株)	6010001107003	事業の企画に沿った実際 の調査の実施、回収した調 査結果の集計	5	一般競争入札	3	70%	_

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック 名		法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者 数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1		_	-	_	_	-	_	_	_